

# 舞鶴若狭自動車道 福知山IC～綾部IC 4車線化

3月26日、供用開始へ

西日本高速道路（株）NEXCO西日本）によって進められていた、舞鶴若狭自動車道の福知山IC～綾部IC間10.2kmの4車線化工事が完成し、3月26日に使用が開始されることになりました。

舞鶴若狭道の全線4車線化は、安全・安心の確保はもとより、舞鶴市の振興、発展に不可欠な最重要事業として、これまでから、舞鶴商工会議所では、舞鶴市などととも、国・府等に対し整備促進に向けて、強力な要望活動に取り組んできました。

平成18（2006）年に福知山IC～舞鶴西IC間22.8kmで2車線のまま残されていた区間について、国から事業許可があり、以来、NEXCO西日本によって整備工事が進められ、これまでに綾部PA～舞鶴西IC間



4車線化完成区間（NEXCO西日本ホームページから）

4.5kmについては、平成30年に完成していました。

今回の完成で、平成18年に事業許可された工事は全てが完了したことになります。

なお、舞鶴西IC～舞鶴東IC間など敦賀JCTへ向けて、2車線区間として残っている区間についても、一刻も早い事業着手が必要なことから、引き続き、国やNEXCO西日本などに対して、要望活動を強化する必要があります。

## 京都府令和3年度当初予算案

# 舞鶴国際ふ頭Ⅱ期整備に 9億円の予算

京都府の令和3年度当初予算案が2月5日に公表され、「舞鶴国際ふ頭のⅡ期整備工事」に着手するための経費として、9億円が計上されました。

Ⅱ期工事は、新規航路の開設や高速道路の整備により、今後も貨物量の増加が見込めること、また、倉庫用地の不足が指摘されることから、現在供用されている舞鶴国際ふ頭（17.8%）の東隣に、新しくふ頭用地や港湾関連用地など15%の土地を造成するものです。

この予算が府議会で可決されれば、令和3年度から、周囲の護岸整備を進め、国の事業として建設が進められる臨港道路「上安久線」で発生する土砂を有効活用し、造成が進められる予定です。なお、工期は十数年程度と見込まれています。

一方、国の事業で、舞鶴国際ふ頭の岸壁の延長（第2バース）も計画されており、早期の事業着手を目指して、準備が進められています。

舞鶴商工会議所は、関西経済圏の日本海側唯一のゲートウェイである「京都舞鶴港の機能強化」に向け、これまでから国や京都府に対しての要望活動を実施してきました。今後も引き続き、“みなど”を核としたまちづくり推進のため、早期完成に向け取り組んでいく必要があります。



舞鶴国際ふ頭の完成イメージ図（京都府港湾局 提供）